

数学科 中学校 3年

単元名 資料の活用

本時の流れ (第3時)

本時の目標の確認

クラス内の生徒の一日の睡眠時間を標本調査で調べよう。

「一日の睡眠時間」の意味を明らかにして質問紙を作成する。

標本となる生徒を抽出し調査を実施する。

調査の結果を整理する。

調査結果を基にして、クラス内の全生徒の睡眠時間を予測して説明(発表)する。

学習のまとめ
本時の振り返りをする。

本時の目標

○標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することを通して、標本調査の結果やそれに基づく説明を正しく解釈する。

班ごとに調査を実施する。

「昨日の睡眠時間」や「過去一週間の平均睡眠時間」など、様々な質問が考えられる、班ごとに質問紙の内容を考えさせる。

標本数や抽出方法等を班ごとに考えさせ、調査を実施させる。

母集団は少ないが、標本調査をすることで、母集団を推測できることを実感させる。

調査結果から、母集団の傾向をとらえ、説明させる。班ごとに結果(母集団の傾向)が異なる場合は、なぜそうなったのかを考えさせる。その際、標本の抽出の仕方や予測の適切さを交流、説明できるようにする。

「活用の力」を育てる評価の視点

生徒が何を根拠にしてそのことを説明したのかを重視し、調査の方法や結論が適切であるかどうかについて、伝え合う活動などを通して共通理解を図るようにする。

HOME

単元の流れへ